

2012年3月期 第2四半期決算説明会

2011/11/17

日本ライフライン株式会社

第2四半期決算報告 通期業績予想

専務取締役
政次 浩二

売上高は前年同期比5.3%増

- インターベンション分野が好調
- 上期予想を1.9%下回る

売上総利益率は3.2ポイント改善

- 高収益品へのシフト
- 公定価引下前の在庫減少

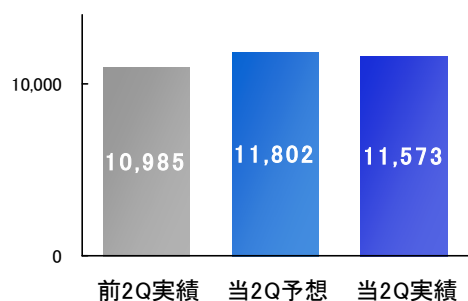
特別利益の計上

- AGAメディカル社商品の薬事承認権譲渡に伴う

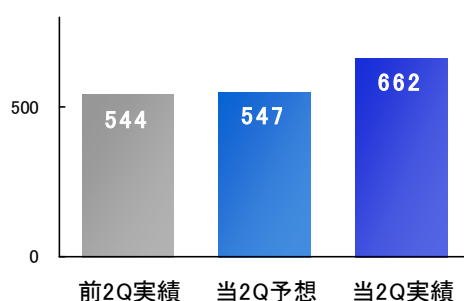
第2四半期累計 連結業績

(単位:百万円)	前期	当期('12/3期)			
	2Q累計実績	2Q累計予想	2Q累計実績	前年同期比	予想比
売上高	10,985	11,802	11,573	5.3%	△1.9%
営業利益	544	547	662	21.7%	21.0%
経常利益	625	543	646	3.3%	18.8%
当期純利益	326	437	413	26.4%	△5.6%

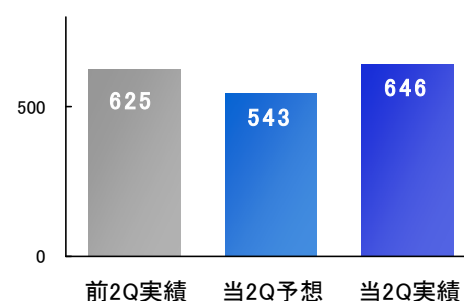
-売上高-



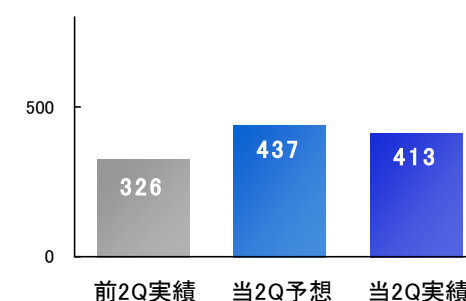
-営業利益-



-経常利益-

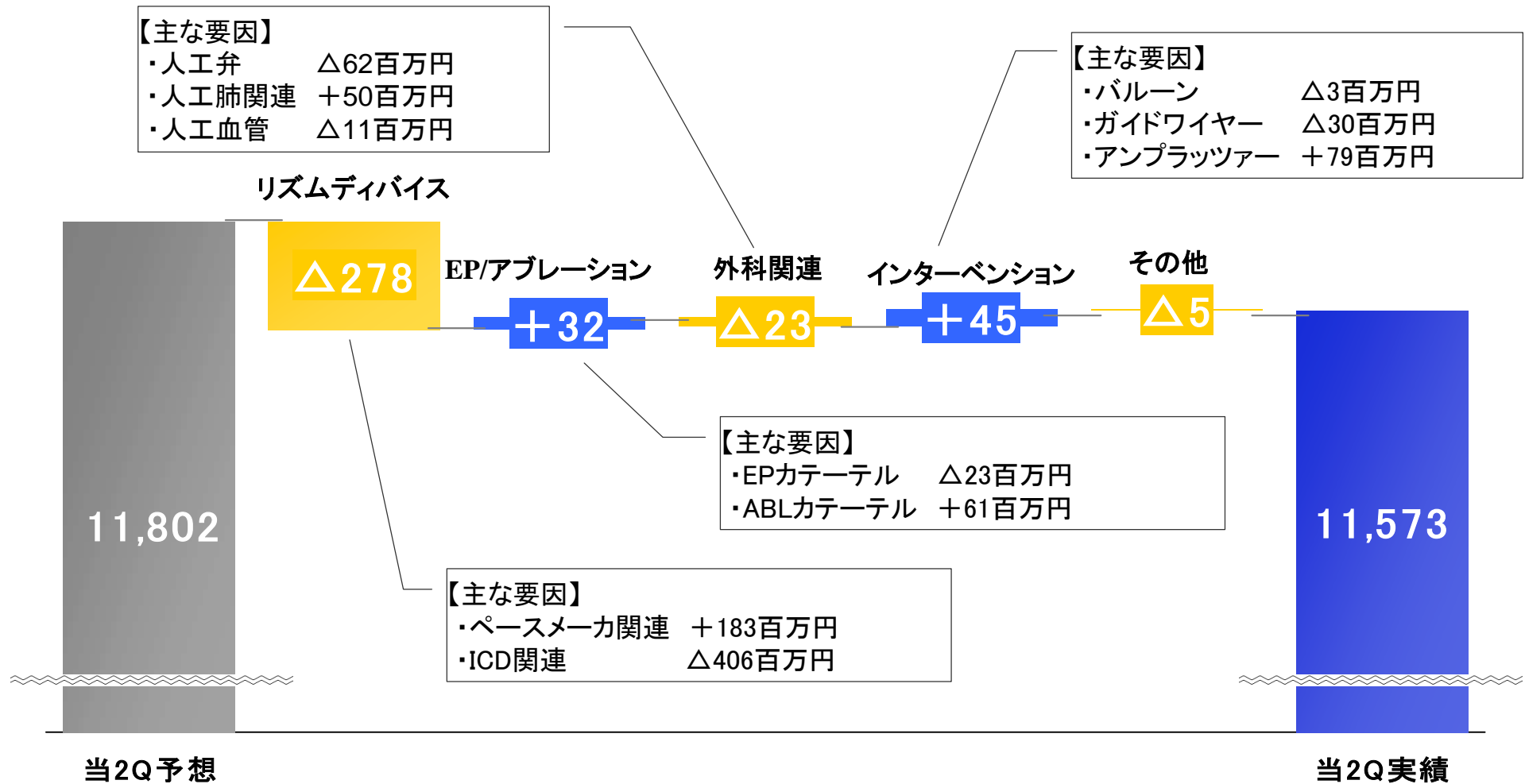


-当期純利益-



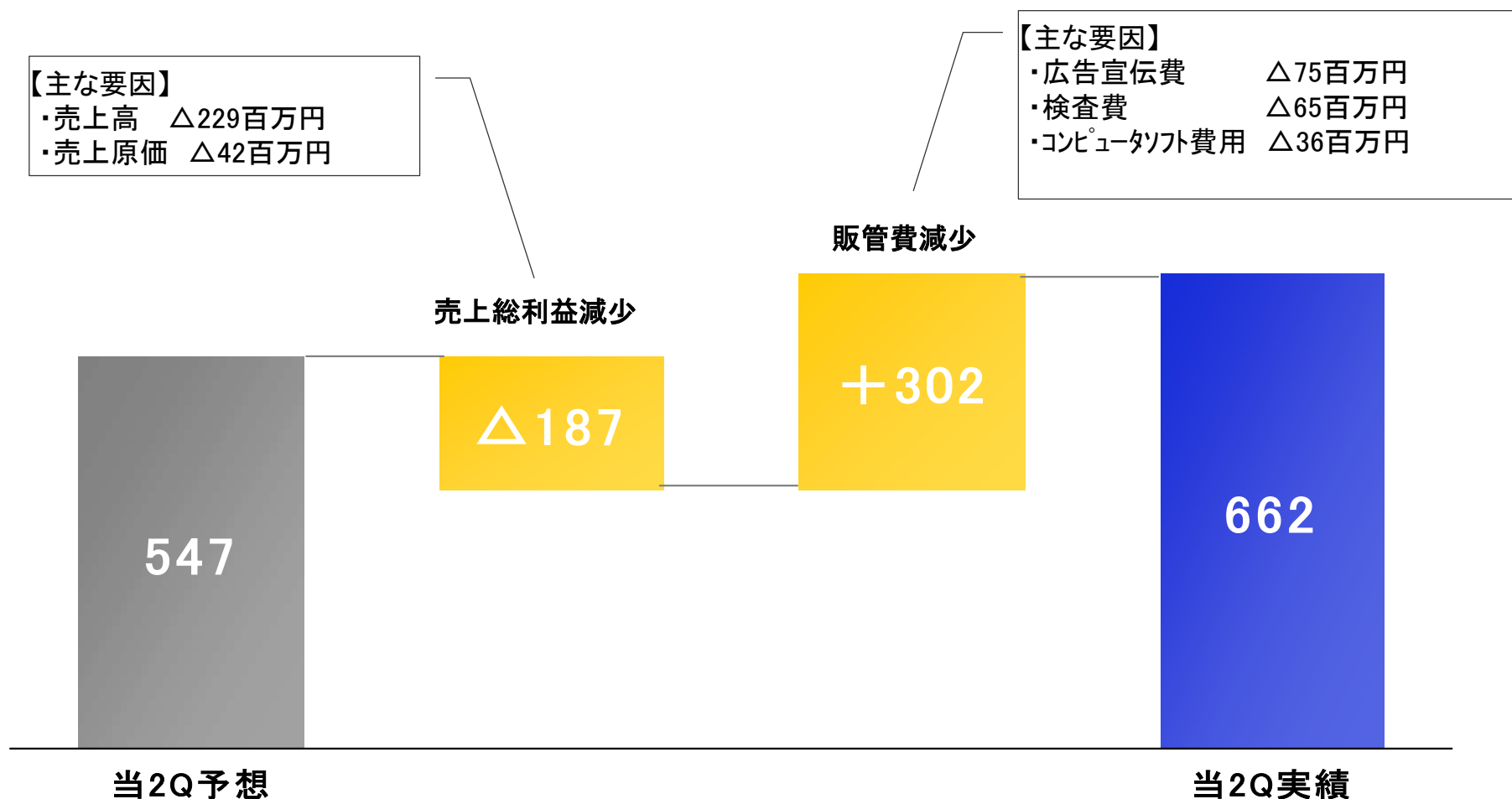
(単位:百万円)

予想差異 $\Delta 229$ 百万円(1.9%減)



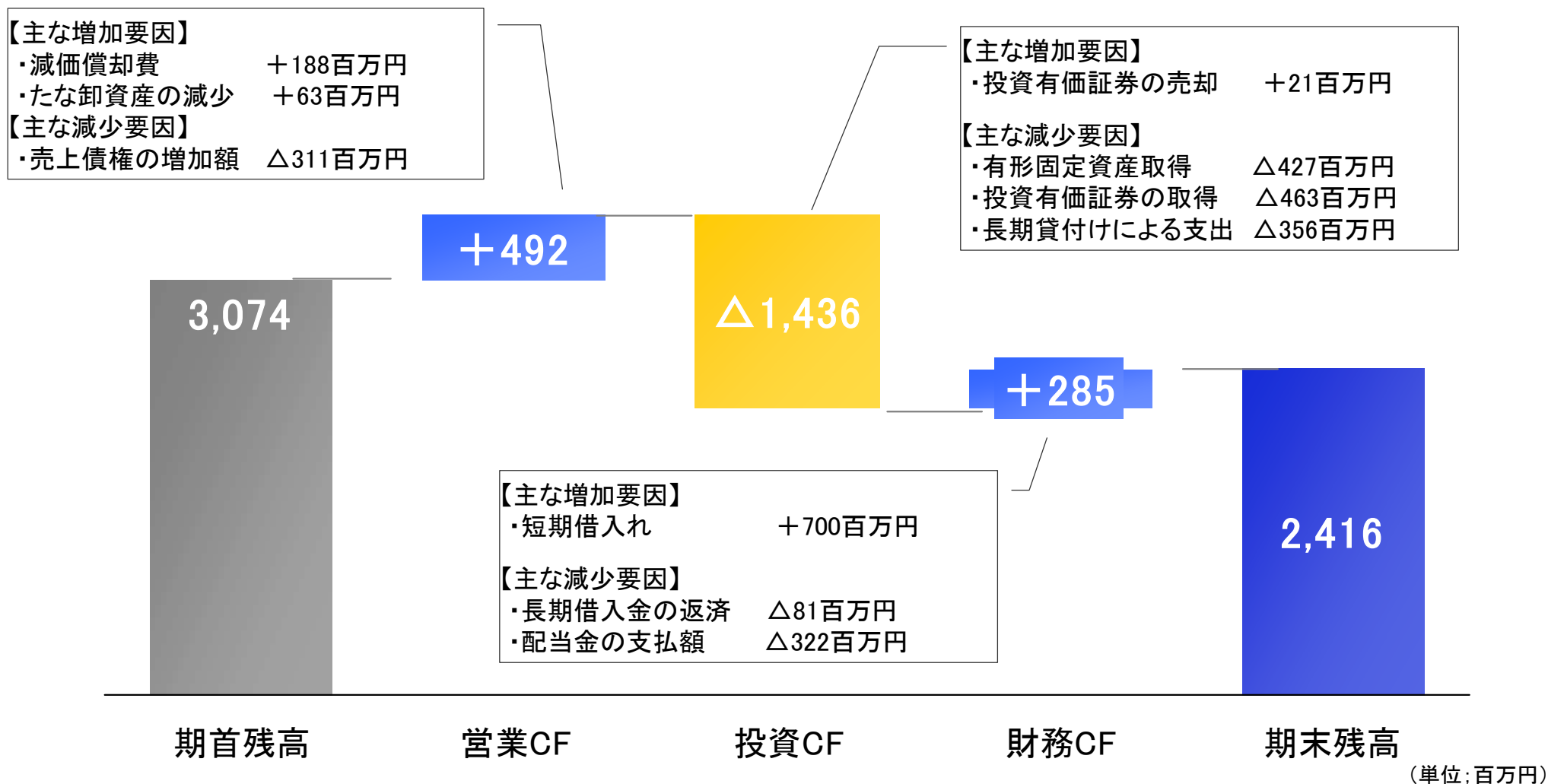
(単位;百万円)

予想差異 115百万円(21.0%増)



(単位:百万円)

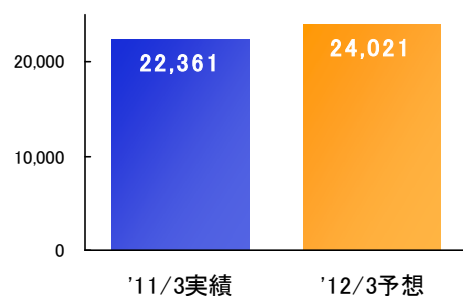
現金及び現金同等物 $\Delta 658$ 百万円



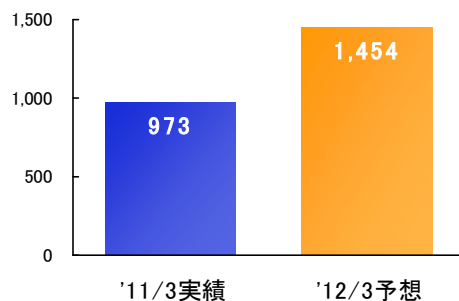
2012年3月期 連結業績予想

(単位:百万円)	2011/3		2012/3		
	実績	構成比	予想	構成比	増減率
売上高	22,361	100.0%	24,021	100.0%	7.4%
営業利益	973	4.4%	1,454	6.1%	49.4%
経常利益	1,082	4.8%	1,450	6.0%	33.9%
当期純利益	772	3.5%	1,078	4.5%	39.6%

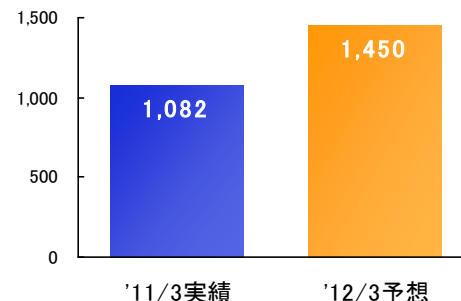
-売上高-



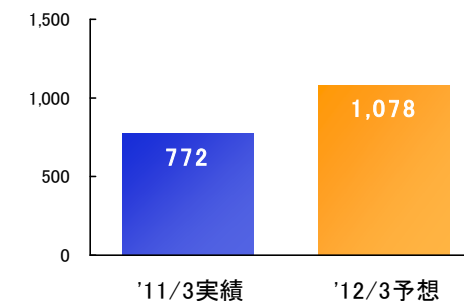
-営業利益-



-経常利益-



-当期純利益-



(単位:百万円)

(資料)連結要約損益計算書

(単位:百万円)	2011/3期				2012/3期			
	2Q累計実績		通期実績		2Q累計実績		通期予想	
	金額	構成比	金額	前期比	金額	構成比	金額	構成比
売上高	10,985	100.0%	22,361	100.0%	11,573	100.0%	24,021	100.0%
売上原価	5,737	52.2%	11,355	50.8%	5,667	49.0%	11,466	47.7%
売上総利益	5,248	47.8%	11,006	49.2%	5,906	51.0%	12,555	52.3%
販管費	4,703	42.8%	10,033	44.9%	5,243	45.3%	11,101	46.2%
営業利益	544	5.0%	973	4.4%	662	5.7%	1,454	6.1%
営業外収益	92	0.8%	135	0.6%	30	0.3%	34	0.1%
営業外費用	12	0.1%	26	0.1%	47	0.4%	38	0.2%
経常利益	625	5.7%	1,082	4.8%	646	5.6%	1,450	6.0%
特別利益	113	1.0%	617	2.8%	244	2.1%	496	2.1%
特別損失	35	0.3%	76	0.3%	16	0.1%	41	0.2%
税前利益	702	6.4%	1,623	7.3%	875	7.6%	1,905	7.9%
法人税等	375	3.4%	850	3.8%	461	4.0%	826	3.4%
純利益	326	3.0%	772	3.5%	413	3.6%	1,078	4.5%

(資料)品目別 連結売上高

	2011/3期		2012/3期			(単位:百万円)
	2Q累計実績	通期実績	2Q累計実績	通期予想	前期比	
ペースメーカー関連	4,533	8,858	4,640	9,014	1.8%	
I C D 関連	733	1,601	681	2,261	41.2%	CRT-D含む
その他	33	71	48	208	190.4%	
リズムデバイス計	5,300	10,531	5,370	11,485	9.1%	
EPカテーテル	1,312	2,747	1,565	3,278	19.4%	自社製造製品
ABLカテーテル	942	1,778	855	1,582	△11.0%	自社製造製品
その他	51	106	52	116	9.2%	
EP / ABL計	2,306	4,632	2,474	4,978	7.5%	
人工弁	383	725	319	787	8.6%	
人工肺関連	234	436	202	306	△29.9%	子会社販売商品含む
人工血管	527	1,226	636	1,368	11.6%	子会社製造製品
外科関連計	1,144	2,388	1,158	2,462	3.1%	
バルーン	506	1,173	699	1,457	24.3%	
ガイドワイヤー	233	484	240	545	12.6%	自社製造製品
アンプラッター	323	684	401	508	△25.7%	
その他	453	944	519	1,122	18.9%	フィルトラップ含む
インターベンション計	1,516	3,286	1,860	3,634	10.6%	
その他	717	1,522	709	1,461	△4.0%	子会社販売商品
合計	10,985	22,361	11,573	24,021	7.4%	

(補足データ)

(単位:百万円)	2008/3期	2009/3期	2010/3期	2011/3期	2012/3期 予想
設備投資額	305	460	502	2,089	1,700
減価償却費	206	253	279	301	519
研究開発費	225	276	381	372	516
期末従業員数 (名)	(単)419	(単)430	(単)453	(単)479	(単)541
		(連)488	(連)515	(連)546	(連)615

課題と展望

代表取締役社長
鈴木 啓介

ペースメーカー関連

ペースメーカー販売数が伸長

- 2Q累計 売上高 4,640百万円(前期比2.4%増)
- PM本体は数量ベース4.5%増加
- 通期予想 売上高 9,014百万円(前期比1.8%増)

ペースメーカーの新機種を発売

- 本年11月発売
- 現行「REPLY」の新機種
(名称は現行モデルと変わらず)
- コンパクト、長寿命に加え、
不要なペーシングを抑える新機能を搭載



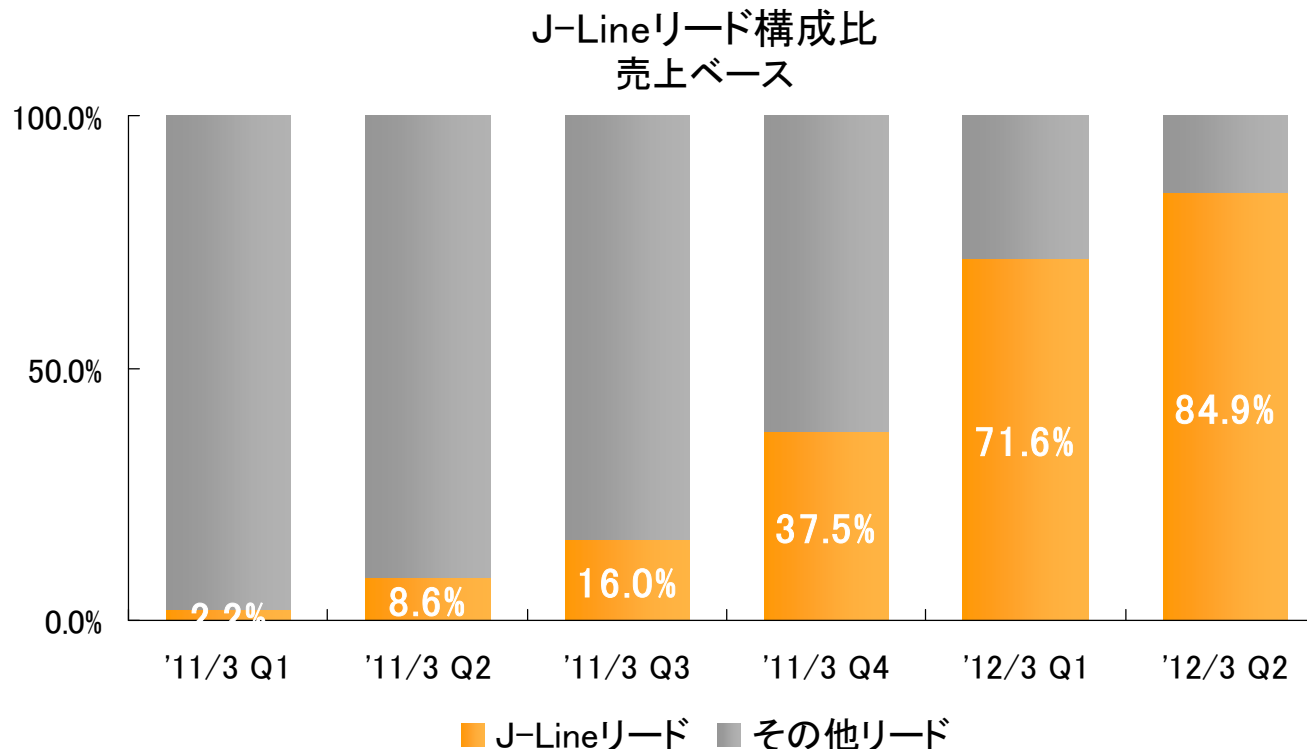
「REPLY」

保険償還価格 116万円

ペースメーカーリード

自社ブランド品へのシフトが進む

- 自社ブランド「J-Line」
- '11/3期1Q発売後、順調に切り替えが進む
- 通期では前期に比べ、約5億円の粗利増加を見込む



ICD関連(ICD、CRT-D)

ICD関連は厳しい競争環境を反映

- 各社ハイパワー市場への注力を高める
- 2Q累計 売上高 681百万円(前期比7.1%減)

独自機能を訴求し拡販に努める

- 長寿命、国内最高クラスの出力
- 日本人に適した薄さと生理的形状
- 独自のBTO機能により、
最適な心臓再同期療法が可能



「PARADYM CRT-D」
保険償還価格 419万円

EPカテーテル・ABLカテーテル

EPカテーテルはシェア増加が続く

- 心房細動治療の増加に伴い「EPスター・リベロ」が伸長
- 2Q累計 売上高 1,565百万円(前期比19.3%増)
- 通期予想 売上高 3,278百万円(前期比19.4%増)

ABLカテーテルは減少

- 競合製品の影響による
- 2Q累計 売上高 855百万円(前期比9.2%減)
ただし減少幅は想定を下回る(予想比7.7%増)
- 通期予想 売上高 1,582百万円(前期比11.0%減)

新たな市場の開拓

中国市場への参入

- 北京市での入札に遅れ（販売許可は取得済）

イリゲーションカテーテルの開発

- イリゲーションカテーテルの開発に注力

心腔内除細動システムの早期上市

- '12/3期4Q承認、'13/3期2Q発売を目指す
- 現在承認品がなく、独自製品となる見通し

人工血管

安定的な供給体制が整う

- JM市原工場の稼動により供給が安定
- 一層の拡販に努める
- 2Q累計 売上高 636百万円(前期比20.7%増)
- 通期予想 売上高1,368百万円(前期比11.6%増)



J Graft シールド NEO (JUNKEN MEDICAL社製)

人工心臓弁

機械弁の減少傾向が続く

- 市場動向は当社の扱う機械弁から生体弁へ移行
- 2Q累計 売上高
319百万円(前期比16.5%減)

ラインナップ強化

- Bicarbon3G 来年1月発売予定
- 従来品に比べ植込み易さが向上
- 通期予想 売上高
787百万円(前期比8.6%増)



機械弁「Bicarbon 3G」

保険償還価格 868,000円

新商品導入

人工弁輪を発売

- 「MEMO 3D」
- '12/3期 4Q発売予定
- 成長市場への参入



人工弁輪「MEMO 3D」

保険償還価格 281,000円

生体弁は承認取得に遅れ

- 「Mitroflow」
- '13/3期 3Q発売を目指す
- ウシ心膜を用いた製品としては国内2番目となる予定



生体弁「Mitroflow」

保険償還価格 925,000円

バルーンカテーテル

前年同期を大幅に上回り推移

- 「LIFESPEAR」通過性と操作性に優れる
- セミコン、ハイプレッシャータイプともに高い評価を獲得
- 2Q累計 売上高699百万円(前期比38.0%増)
- 通期予想 売上高1,457百万円(前期比24.3%増)



ガイドワイヤー

自社製品のガイドワイヤーが堅調

- 高度狭窄部位を対象とした「アスリート ウィザード」が牽引
- 2Q累計 売上高240百万円(前期比3.1%増)
- 通期予想 売上高545百万円(前期比12.6%増)



「アスリート ウィザード」保険償還価格 25,100円



独自のディッピングポリマー技術を採用

コイルとコアの隙間にポリマーを充填。一体となったコイルとコアが手元のトルクコントロールをダイレクトに先端へ伝達し、高い操作性を実現。

ガイドワイヤー

新製品導入により一般用ワイヤーを強化

- アスリートシリーズの新製品「スパイダー」、「ジョーカー」
- 高度狭窄部位用より大きな市場でのシェア拡大を目指す
- 本年12月発売予定

PTCA GUIDE WIRE
ATHLETE®
Spider

血管内における安全性を重視したモデル
通常症例から蛇行の強い血管などに適合

PTCA GUIDE WIRE
ATHLETE®
JOKER

トルクレスポンスを重視したモデル
通常症例から分岐部等の複雑症例までをカバー



新コア「CMC」の採用(コスモス・マルテンサイティック・コア)

剛性に優れたステンレス素材に、最新の伸直加工技術を施し、従来
にない耐久性、復元性、操作性を実現。

アンブラッツァー（構造的心疾患治療器具）

本年12月に販売終了

- 2Q累計 売上高401百万円（前期比24.2%増）
- 市場の成長は続く見通し

オクルテック社製品で再参入を目指す

- 心房中隔欠損閉鎖器具
- 4年後の発売を見込む
- パイオニアとしての実績により
導入後早期のシェア獲得を目指す



心房中隔欠損閉鎖器具

貫通用カテーテルを発売

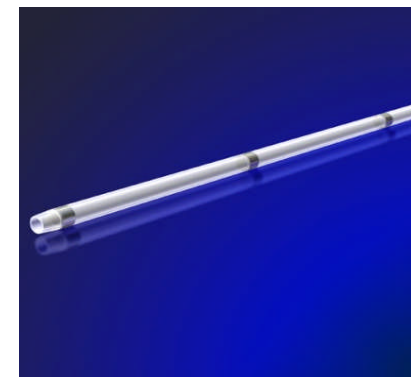
Minnie(ミニー)

- 本年10月発売
- 高い通過性
- 病変計測用のX線不透過マーカ―

Twin-Pass(ツインパス)

- 本年12月発売予定
- 血管内の分岐部で効果を発揮するユニークな形状

Minnie®
Support Catheter



保険償還価格 51,200円

Twin-Pass®
Dual Access Catheter

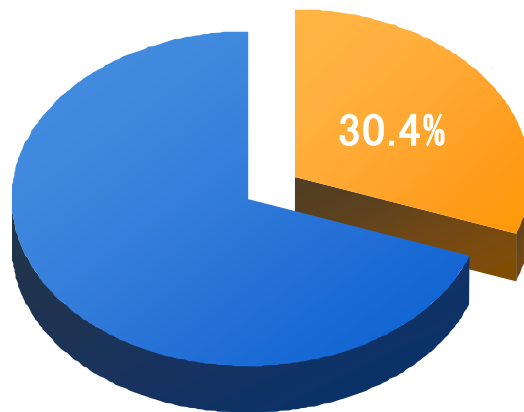


保険償還価格 51,200円

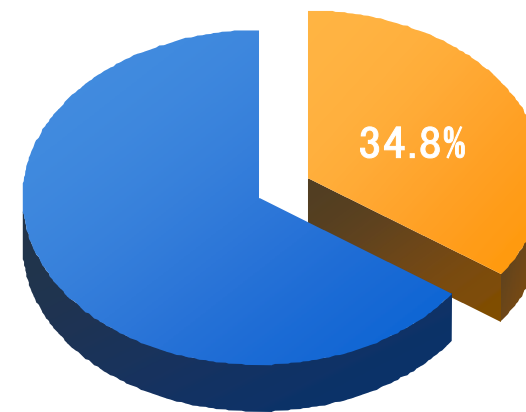
経営基盤の安定化に寄与

- 自社製品 2Q累計 売上高(単体ベース)
3,276百万円(前期比9.5%増)
- M&Aなどによる販売権の喪失リスクを回避
- 公定価引き下げにも原価低減で対応

自社製品構成比
—売上高—



自社製品構成比
—粗利—



※構成比は単体実績値をベースとしています。

※自社製品にはEPカテーテル、アブレーションカテーテル、ガイドワイヤーに加えて、子会社製品の人工血管を含めています。

中長期の生産体制を構築

小山新工場の建設

- 栃木県小山市
- 2014年春の稼動を目指す
- 敷地面積2.25ヘクタール(戸田工場の7倍以上)

生産量の増加へ対応

- 国内外協力工場への生産委託による原価低減、生産量増加への対応
- 小山では半製品の受入検査・包装・滅菌を実施
- 最終工程の国内実施により高い品質を追求

現在

浮間ファクトリー

2012春

メディカル・テクノロジー・パーク
(戸田新工場)

独自製品の開発強化

製造技術の向上

2010/12~

JM市原工場

人工血管の製造

JM東松山工場

血液浄化関連商品の製造

2014春

小山新工場

供給力の増強

海外生産品の受入

中国製造子会社

海外協力工場

原価低減

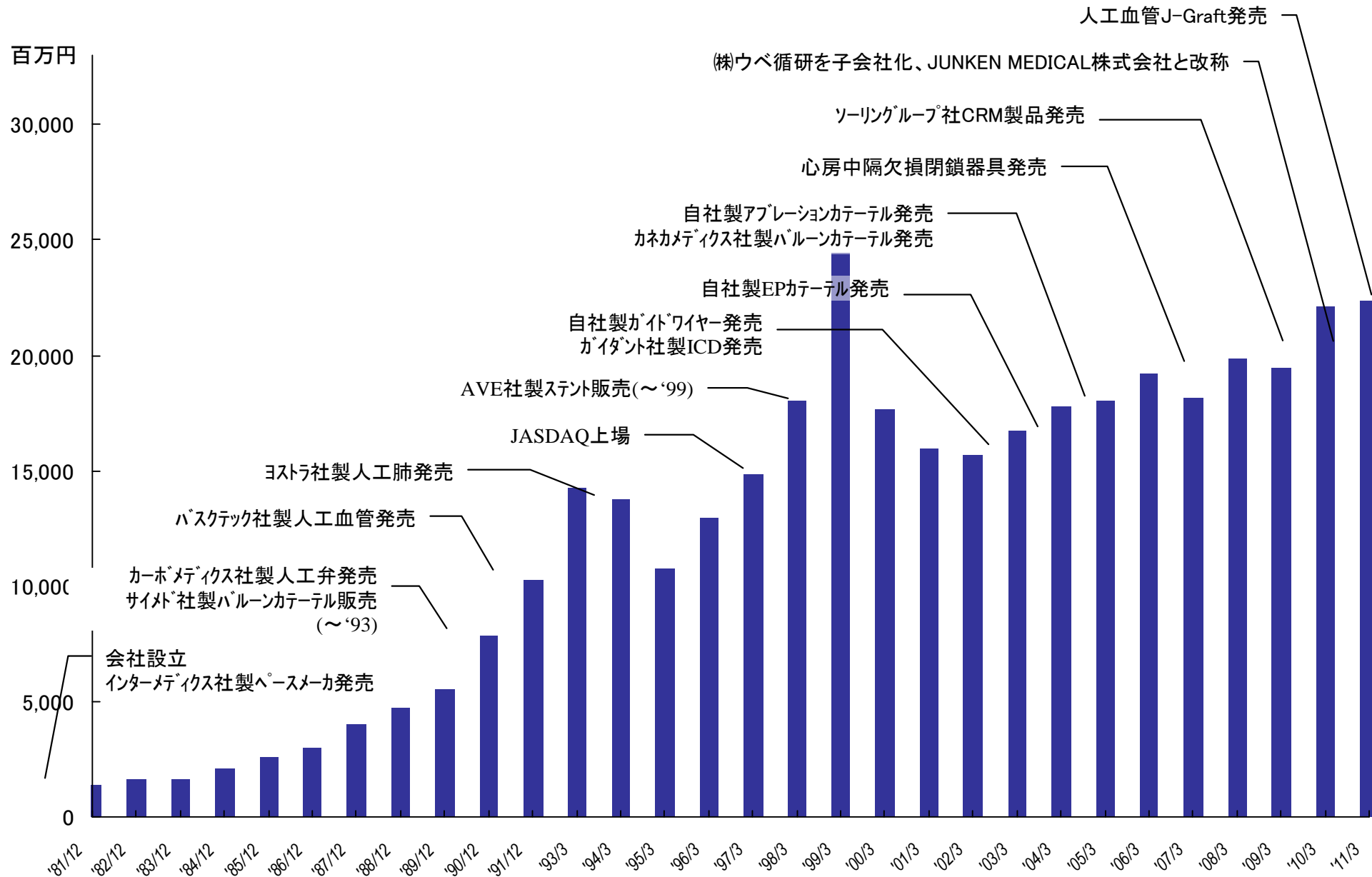
グループ開発・生産体制の構築

End of Presentation

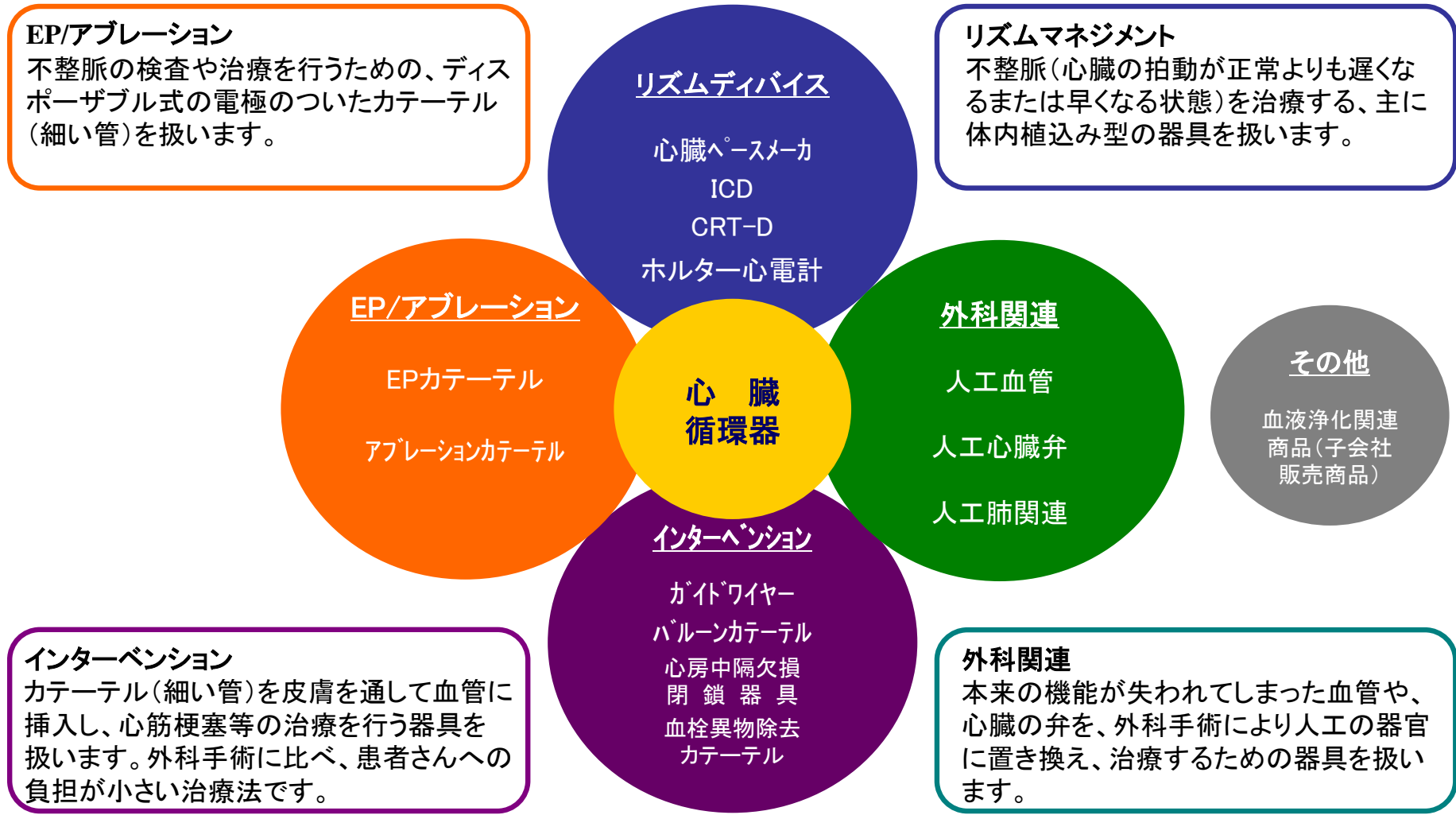
会社概要

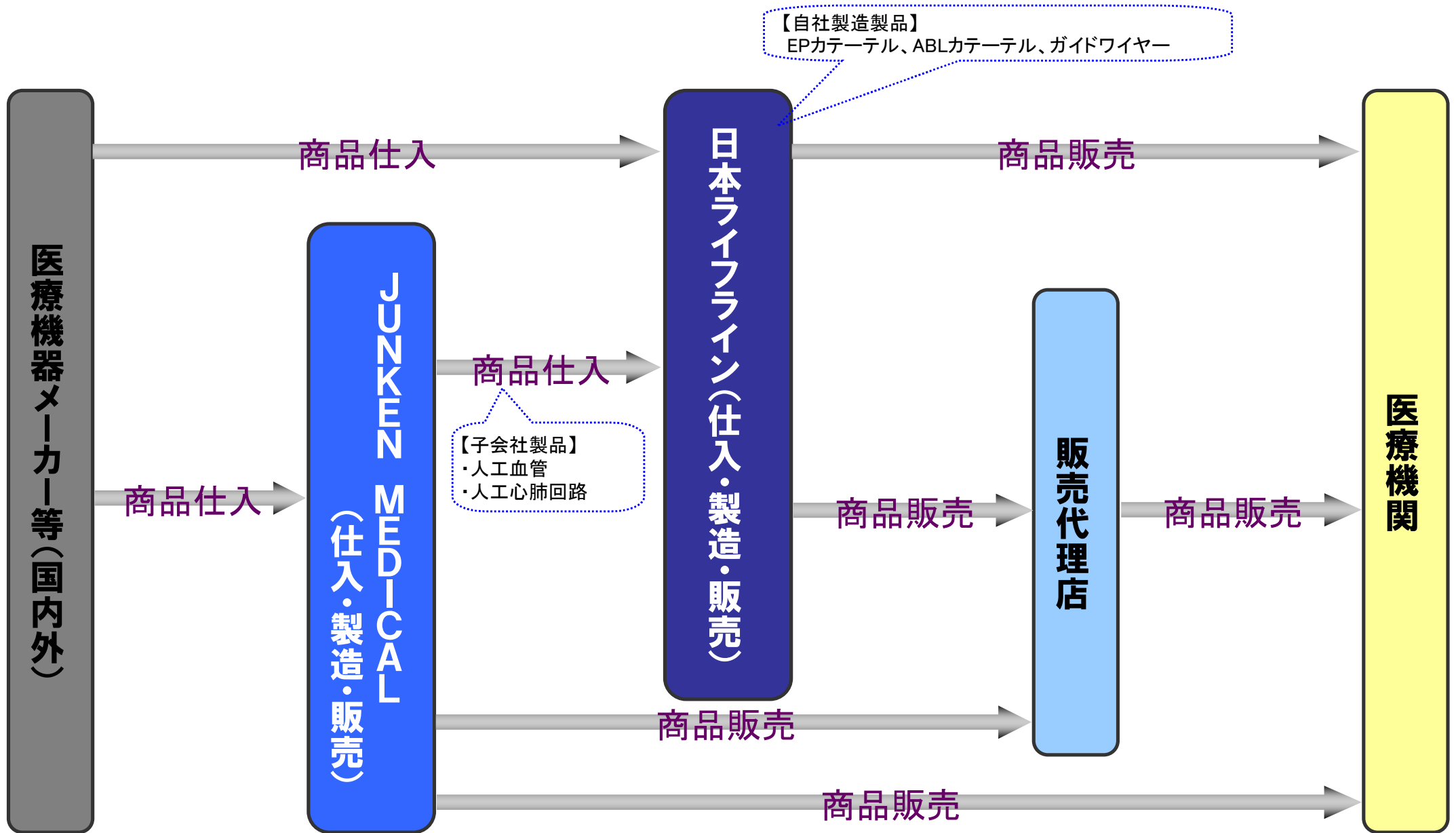
商号	日本ライフライン株式会社
代表者	代表取締役社長 鈴木 啓介
本社	東京都品川区東品川2-2-20天王洲郵船ビル
設立	1981年2月6日
上場	1997年12月8日(JASDAQ)
証券コード	7575
事業内容	医療機器の輸入、製造および販売
資本金	2,115百万円
従業員数	連結 546名/単体 479名(2011年3月末現在)
事業所	営業拠点(30ヶ所)、ディストリビューションセンター、リサーチセンター、浮間ファクトリー、天王洲ACCADEMIA(研修センター)

当社歴史と売上高の推移



当社は創業以来、不整脈や心筋梗塞等の心疾患を治療するための医療器具を扱っており、事業領域はリズムデバイス、EP/アブレーション、外科関連、インターベンション、その他の5つに大別されます。





心臓ペースメーカー

(SORIN GROUP社製)



心臓の拍動が正常よりも遅くなる不整脈(徐脈)に対して、人工的に電気刺激を与えることで拍動を保ちます。

心臓の拍動が異常に早まる不整脈(頻脈)のうち、致死性の不整脈である心室細動の発生を検知し、電気ショックを与えることで、拍動を正常な状態に戻します。

ICD(植込み型除細動器)

(SORIN GROUP社製)



CRT-D(除細動機能付き両心室ペースメーカー)(SORIN GROUP社製)



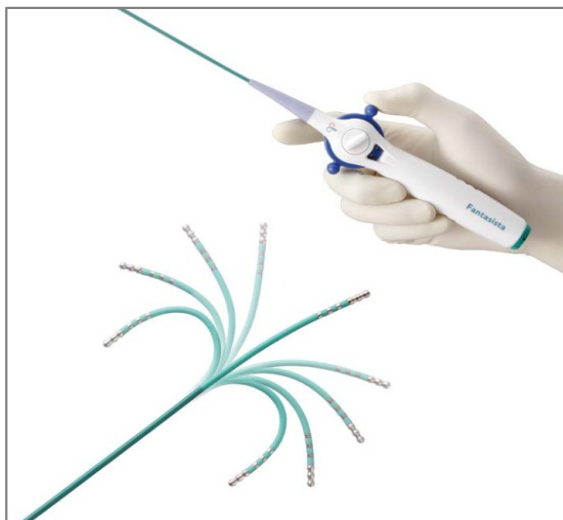
重症心不全に対して、心臓の左右両方の心室に電気刺激を与えることで、心臓の同期不全を整えポンプ機能を改善します。またICDと同様に除細動の機能も合わせ持っています。

長時間の心電図を記録することで、短時間で出現しない異常や日常生活での心臓の状態を記録します。

ホルター心電計

(SORIN GROUP社製)





アブレーションカテーテル

(自社製造製品)

頻脈の原因となる心臓内の異常な電気刺激の経路を、カテーテル先端部の電極から流す高周波電流により焼き切り治療します。



EP(電気生理用)カテーテル

(自社製造製品)

不整脈の診断や治療方法の適応を判断するための検査に用いられます。カテーテル先端に電極がついており、心臓内の電位を測定したり、不整脈を誘発させることで原因を特定します。



人工心臓弁

(Carbomedics社製)



心臓内の血液の逆流を防ぎ、正しい流れを保つために機能している心臓弁が、十分に開かなくなったり、完全に閉じなくなった場合に、人工心臓弁に置き換え、本来の機能を回復させます。

動脈瘤(動脈の壁に瘤ができ、場合によっては破裂、出血する)などで痛んだ血管を切り取って人工血管に置き換えたり、バイパスとして使用します。

人工弁付血管

(Carbomedics社製)

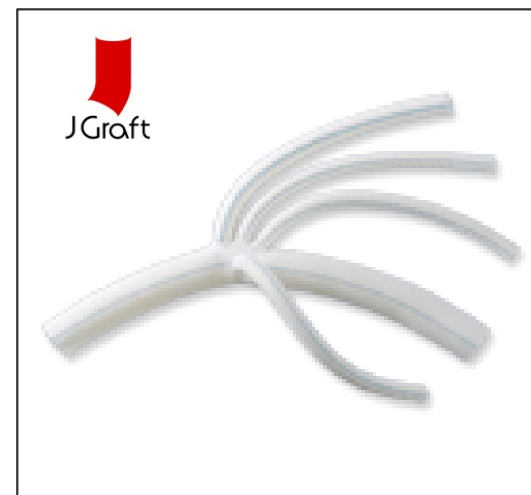


人工心臓弁と人工血管が一体となっており、大動脈弁と弁につながる動脈を同時に交換する場合に用いられます。

心臓の外科手術を行う場合、一時的に心臓を停止させ、人工心肺装置により血液を循環させますが、その際血液中の二酸化炭素を除去し、酸素を供給する肺の働きをします。

人工血管

(JUNKEN MEDICAL社製)



人工肺

(SORIN GROUP社製)



バルーンカテーテル

(カネカメディックス社製)

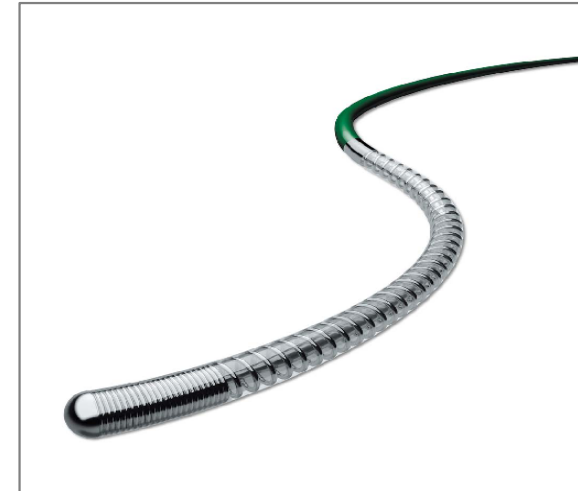


心臓の筋肉に酸素や栄養を送る血管(冠動脈)が詰まるのが原因となる心筋梗塞や狭心症の治療に用いられます。血管の詰まった部分で風船(バルーン)を拡張させ、再度血流を確保します。

バルーンカテーテルを血管の詰まった部分に導くために用いられます。ガイドワイヤーを血管の詰まった部分の先まで通過させ、これに沿ってバルーンカテーテルを進めます。

ガイドワイヤー

(自社製造製品)



心房中隔欠損閉鎖器具

(AGA Medical社製)



先天的に心臓の左右の心房を隔てる壁に穴が開いている疾患(心房中隔欠損症)を、従来の外科手術ではなくカテーテルを用いて治療します。

血管内の浮遊血栓等の血管内異物を捕捉または除去するカテーテルです。バスケットがフィルター型のため血流を確保することができます。

血栓異物除去用カテーテル

(ニプロ社製)



ご注意事項

本資料の記載内容のうち、歴史的事実でない事項は、日本ライフラインの将来に関する見通し及び計画に基づいた将来予測です。特に、商品や製品に関し、治験に関する事項、薬事法の承認に係る事項、および発売時期につきましては、過去の経験や入手可能な情報から得られた当社の予測であります。実際の業績は、さまざまなリスクや不確実な要因の影響により、本資料記載の見通しと異なる可能性がありますので、これらの見通しに過度に依存されないようお願いいたします。

本資料に関するお問い合わせ先

日本ライフライン株式会社

経営管理部 山田

TEL: 03-6711-5214

E-Mail: ir@jll.co.jp

URL: <http://www.jll.co.jp>